安全データシート（SDS）

1．製品及び会社情報

製 品 名	ウインドヒルボディソープ ECO－SARA α
販 売 名	ウインドヒルボディソープ ECO－SARA α
会 社 名	株式会社 イグレク
住 所	千葉県香取市中洲1232-1
担当部門	品質管理部門
電話番号	0478-56-0691　　FAX番号　0478-56-0695
緊急連絡先	上記に同じ

2．組成，成分情報　　単一製品・混合物の区別　：　混合物

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
ラウレス硫酸Na	9004 － 82 － 4	（ 7 ）－ 155	
ラウラミドプロピルベタイン	86438 － 78 － 0	（ 2 ）－ 2707	
パーム核脂肪酸アミドDEA	73807 － 15 － 5	（ 2 ）－ 827	
メチルイソチアゾリノン	2882 － 20 － 4	（ 5 ）－ 5235	
メチルクロロイソチアゾリノン	26172 － 55 － 4	（ 9 ）－ 378	
その他			

3．危険有害性の要約

最重要危険有害性	：特記する危険有害性は知られていない。
有　害　性	：目，呼吸器及び皮膚を刺激するかもしれない。
環 境 影 響	：水生生物に対し毒性がある恐れがある。
物理的及び科学的危険性	：通常の使用条件下では，物理的及び科学的危険性はない。
特定の危険有害性	：特記する危険有害性は知られていない。
主 要 な 兆 候	：通常通りの取扱では危険性は低いが，高温に加熱したときは，引火する場合もある。
分類の名称（分類は日本方式）	：分類基準に該当しない。

4．応急処置

吸入した場合	：新鮮な空気の場所に移動させ安静にし，必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	：直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後，医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	：水で口の中を洗浄し，コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には，口から何も与えてはならない。
皮膚に付着した場合	：多量の水で洗い流す。症状が出た場合は，必要に応じて医師の診断を受ける。

5．火災の時の処置

消 火 方 法	：火元への燃焼源を断ち，適切な消化剤を使用して消火する。消火作業は，可能な限り風上から行う。周囲の設備などに散水して冷却する。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火のための放水等により，製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消　化　剤	：粉末消火薬剤，水溶性液体用泡消火薬剤，二酸化炭素，砂，霧状水
使ってはならない消化剤	：棒状水
火災時の特定危険有害性	：燃焼ガスには，一酸化炭素，硫黄酸化物等の有害ガスが含まれるので，消火作業の際には，煙の吸入を避ける。
消火を行う者の保護	：適切な保護具（手袋，眼鏡，マスク等）を着用する。

6．漏出時の処置

人体に対する注意事項 ： 作業には，必ず保護具（手袋，眼鏡，マスク等）を着用する。多量の場合は，人を安全な場所に避難させる。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 ： 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除 去 方 法 ： 少量の場合，吸着剤（土，砂，ウエス等）で吸着させ取り除いた後，残りをウエス，雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合，盛り土で囲って流出を防止し，安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策 ： 床に漏れた状態で放置すると，滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

7．取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 取扱い場所の近くに，洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項 ： 特になし

安全取扱い注意事項 ： 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡，保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は，手，顔等をよく洗い，うがいをする。

保 管

適切な保管条件 ： 通気のよい場所で容器を密閉し保管する。凍結を避ける。

安全な容器包装材料 ： 製品使用容器に準ずる。

8．暴露防止及び保護措置

設 備 対 策 ： 屋内作業場には，排気装置を設置する。取扱場所近辺に，洗眼及び身体洗浄の設備を取り付ける。

許 容 濃 度 ： 設定されていない。

保 護 具

呼吸用の保護具 ： 通常の取扱では特に必要としない。

手の保護具 ： 不浸透性（耐薬品，耐油，耐溶剤）保護手袋

眼の保護具 ： 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型保護眼鏡）

皮膚及び身体の保護具 ： 長袖作業衣

適切な衛生対策 ： 取扱い後は，手，顔等をよく洗い，うがいをする。

9．物理的及び化学的性質

外 観 ： 半透明粘性液体　　pH ： 5.8～6.8

溶解性 ： 水に可溶

10．安定性及び反応性

安定性 ： 通常の取扱では安定。

避けるべき条件 ： 高温または日光等の光が当たる場所での保管

避けるべき材料 ： 情報なし

その他 ： 記載すべき情報はない。

11．有害性情報

急 性 毒 性 ： 現在のところ，有用な情報なし。

局所効果(皮膚，目など) ： 皮膚刺激性としては比較的弱いと考えられるが，皮膚に付着した場合，稀に体質によりかぶれたりする。

感 作 性 ： 現在のところ，有用な情報なし。

が ん 原 性 ： 現在のところ，有用な情報なし。

変 異 原 性 ： 現在のところ，有用な情報なし。

そ の 他 ： 記載すべき情報はない。

12．環境影響情報 ： 現在のところ，有用な情報なし。

13．廃棄上の注意

残余廃棄物	：焼却する場合，関連法規・法令を遵守する。大量の処理又は廃棄する場合，都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し，廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関連法規・法令を遵守し，適正に処理する。
汚染容器・包装	：空の汚染容器・包装を廃棄する場合，内容物を除去した後に，都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し，廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関連法規・法令を遵守し，適正に処理する。
その他	：海，河川，湖その付近及び排水溝に廃棄してはならない。 ：その他関係法令の定められるところに従う。

14．輸送上の注意

国内法規制	
陸上輸送	：消防法，労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	：航空法に定められている運送方法に従う。
国内法規制	：航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類	：国連の定義による危険物に該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	：① 輸送前に容器の破損，腐食，漏れ等がないことを確認する。 ② 運搬容器及び梱包の外部に品名，数量を表示する。 ③ 陸上輸送の場合，運搬の積み重ね高さは3m以下とする。転倒，落下，損傷がないように積み込み，荷崩れの防止を確実に行う。 ④ その他関係法令の定められるところに従う。

15．適用法令

① 化審法	：該当しない	⑦ 道路運搬車両法	：適用なし
② 消防法	：該当しない	⑧ 海洋汚染防止法	：油分排出規制
③ 労働安全法	：該当しない	⑨ 下水道法	：油分排出規制
④ 毒劇物法	：該当しない	⑩ 水質汚染法	：油分排出規制
⑤ 船舶安全法	：該当しない	⑪ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	：産業廃棄物規制
⑥ 航空法	：該当しない	⑫ 容器包装リサイクル法	：適用あり

16．その他の情報

（１）引用文献　：原料メーカー発行の製品安全データシート

（２）その他

① 危険・有害性の評価は，必ずしも充分ではないので，取り扱いには十分注意してください。

② この製品安全データシートは，当社の製品を適正にご使用いただくために必要で，注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので，通常の取り扱いを対象としたものです。

③ 本製品は，この製品安全データシートをご参照の上，使用者の責任において適正に取り扱ってください。

④ ここに記載された内容は，現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが，これらのデータや評価は，いかなる保証もするものではありません。

また，法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。